

○ MRI検査を行うときの注意事項になります。

- 1) 体内に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器(ICD)、神経刺激装置(脳・迷走神経・脊髄等)、ティッシュ・エキスパンダー(組織拡張器)、脳動脈瘤クリップ(昭和時代の手術)、人工内耳、水頭症手術による圧加変式シャントバルブを留置されている方や、妊娠3ヶ月以内の方のMRI検査はお受けいただけません(留置されている装置の故障、ならびに撮像後の管理まで必要となるため)。
- 2) 外科的手術を受けられ、身体内に金属製医療機器(特に脳動脈瘤クリップ、金属ステント、脊椎スクリューや人工関節、歯科の矯正装具等)を留置されている方は、必ず事前に画像検査受付もしくは検査担当者にお申し出ください。また、手術を受けたが体内金属の有無が不明な方も事前にお申し出ください。
- 3) 妊娠早期の胎児に対するMRI検査の影響は不明な点がありますので、妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方は、必ず事前に画像検査受付もしくは検査担当者にお申し出ください。
- 4) インスリンポンプ、持続グルコース測定器、アルミ箔製のニトログリセリン真皮浸透絆創膏を装着されたままではMRI検査をお受けいただけません。必ず事前に画像検査受付もしくは検査担当者にお申し出ください。
- 5) 頭髮(頭皮)用の増毛パウダー、増毛ファイバー、白髪隠しを使用されたままではMRI検査をお受けいただけませんので、使用せずにご来院ください。なお、当日ご使用されている場合は後日の検査となりますことをご了承ください。
- 6) カラーコンタクトレンズ(無着色のコンタクトレンズは可)、サークルレンズ、まつげや頭髮等のエクステンションを使用されたままではMRI検査をお受けいただけませんので、使用せずにご来院ください。なお、検査前に取り外された製品の責任は当院ではとりかねます。予めご了承ください。
- 7) ヒートテック等の発熱・保温性素材(主にレーヨンとアクリル)の肌着や靴下を着用されたままではMRI検査をお受けいただけませんので、可能な限り着用せずにご来院ください(検査着あり)。
- 8) 刺青(タトゥー)、アートメイク、ネイルアートをされている方はMRI検査をお受けいただけない場合がありますので、必ず事前に画像検査受付もしくは検査担当者にお申し出ください。また、金属成分を含む化粧品(ファンデーション、アイシャドウ、アイライン、日焼け止めクリーム等)は使用せずにご来院ください。検査の内容によっては、検査前に落としていただく場合があります。
- 9) 検査部位が脊椎(背骨)や関節等の整形領域であれば食事や飲水等の制限はありません。不明な場合は事前にお問い合わせください。
- 10) 閉所恐怖症の方は、事前に画像検査受付もしくは検査担当者にお申し出ください。

○ MRI検査室内へは上記の注意事項に加え、下記に示す電子機器や金属製品、ならびに磁気に影響を受けるものの持ち込みはできません。

- 1) 電子機器全般(腕時計、スマートウォッチ、スマートフォン、携帯電話、補聴器、イヤホン等)
- 2) 金属製品全般(ヘアピン、ピン付かつらやウィッグ、小銭、鍵、眼鏡やサングラス、金属を用いた入れ歯、アクセサリー全般等)
- 3) 磁気記録媒体全般(クレジットカード、キャッシュカード、ICカード等)
- 4) 衣類の金属(下着の金具、ボタン、ホック、ファスナー、安全ピン等)、ノーズワイヤが金属製であるマスク、金属を用いたコルセット、カイロやエレキバン等の鉄粉や磁気を含む貼付剤

(お問い合わせ先：なごやひがし整形外科・脊椎クリニック ☎052-680-8375)